
東方馬鹿者語

放浪 旅人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方馬鹿者語

【Nコード】

N9440Z

【作者名】

放浪 旅人

【あらすじ】

二十歳なのに見た目は可愛い系中学生レベル！
頭は小学生以下！
そんな、少年？青年？の物語

1・主人公はバカだった（前書き）

初の連載小説です。

短編の時よりひどいかもです。ハイ。

キャラ崩壊もあります。ハイ。

さらに、かなり短いです。ハイ

それでもよければどうぞ。

駄目な方はお手数ですが、ケータイの戻るボタンを押して下さい。

1・主人公はバカだった

ここは魔法の森。

危なげなキノコが沢山生えており、そのキノコから幻覚作用のある胞子が舞っているとても危険な場所だ。

しかし普通の人間は1分も保たないようなこの場所で人間が一人で食事をしていた。

「うーん、狼の肉は少し固いなあ。

たまには、美味しい物も食べたいし……」

胞子の事などお構いなしに、狼の肉に嚙り付きながらうんうん、唸っていた。

彼の頭の中は美味しい食べ物の事でいっぱいだった。

……もう一度繰り返すが、ここは魔法の森。

人食い妖怪や、幻覚作用のあるキノコ胞子が沢山ある。

普通の人間にはとても危険な場所である。

食べ物の事など考える余裕がない場所である。

一時間程うんうん唸っていたが、いきなり立ち上がって呟いた。

「そつだ！人里に行って団子屋に行こう！」

紹介が遅れたが、このアホそうな子は気楽 天。

(キガク テン)

女装をして、12歳の少女です。と言えば通じてしまいそうだが、二十歳の男性である。

本人はコンプレックスらしいが、身長が低く、童顔なので仕方ない。

「?今、誰か僕のことを褒めたのかな?

何か聞こえたけど……」

……気楽なアホである。

「まあ、いいや。

そんな事より、団子屋! 団子屋!」

そんな事を叫びながら、彼は人里に向けて走りだした。

……三十分後……

彼は黒い玉から逃げていた。

「わはは 待つのだ」。

私の獲物」

中からは時折、天と同じアホっぽい声が聞こえていた。

「ヒイツ! ま、待てルーミア! 能力を解いて、僕を見て。」

どうやら、黒い玉の中に知り合いが居るらしく、必死に説得していた。

彼はガ○ツの玉○が知り合いなのだろうか?

「あれ? その声は天なのか?」

そう言って出てきたのは、○ンツの○男ではなく。

赤いリボンに綺麗な金髪をした、幼じよ……少女だった。

「全く、ルーミアも確認しなきゃ。」
友達を食べるところだったよ?」

「ごめんなのだ。」
でも、お腹すいたのだ。」

「ふーん、でも人食いは駄目だよ。
じゃ!僕人里行くから」
と言って天が歩こうとすると……
ガシッ!

ルーミアが腕を掴んでいた。

「あのだ?」

ルーミアさん? 僕、もう行きますよ?」

「ゴハンちよくだい!」
良い笑顔である。

「いや、だから僕は今から人里に「ゴハンちよくだい!」……」
変な会話である。

「よかろう!僕のクイズに答える事が出来ればな!」
「わは。来いなのだ。」

「行くぞ! 4 x 6 は?」

「……じ、10なのか?」

「フッフッフ、答えは!」

「答えは?!」

嫌な予感がする……

「46だ！」

嫌な予感的中してしまった。

「そ、そーなのかー！」

納得してしまった。

「そーなのだー！」

という訳じゃあね〜」

「悔しいけど、バイバイなのだ〜。」

……変な会話ではなく、アホな会話だった。

こんなんで、大丈夫なのだろうか？

1・主人公はバカだった（後書き）

……短い。

しかも、いつもひどいのになおさらかもしれないです。ハイ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9440z/>

東方馬鹿者語

2011年12月29日15時49分発行